

# 今月の一言

## キーワード：拍手

**意味：拍手(はくしゅ、かしわで)**とは、神道の祭祀や、神社・神棚など神に拝する際に行う行為である。柏手と書かれることもあり、また、開手(ひらて)ともいう。

両手を合わせ、左右に開いた後に再び合わせる行為を指す。通常、手を再び合わせる際に音を出す。音を出す理由は、感謝や喜びを表すためであり、凶事や悲しみを表す行事においては音を出さない作法(後述)もある。他に、願いをかなえるために神を呼び出すため、邪気を祓うためともいわれる。この場合、音を出さないのは故人の霊を祓ってしまわないためとされる。

現代の参拝で行われる「二拝二拍手一拝」など、3回以下のものは「短拍手・短手(みじかて)」と呼ばれる。出雲大社、宇佐八幡、弥彦神社の4回、伊勢神宮の8回など、4回以上手を打つものは「長拍手・長手(ながて)」と呼ばれる。他に、8回打った後に再度短拍手を1回打つ「八開手(やひらて)」もある。

**初めて出雲大社に参拝してきました。“出雲大社平成の大遷宮”ということもあり、全国からの参拝者は大変な人数でした。バスガイドさんも驚いていました！社や敷地は想像よりは、こじんまり。**

**縁結びの神様なので、チョット早いと思いましたが子供たちには、縁結びのお守りを買いました。**

**2013年10月25日**

**さいのう とおる**

追伸：朝晩の寒暖差が厳しい毎日です。体調管理を十分して、風邪を引かないようにしてください。